

調布市産学官連携

＜ 調布市 × N T T 東日本 ＞

調布市,教育委員会とNTT東日本,NTTアグリテクノロジー

の連携による

デジタル化 に対応した 食育の推進



◆取組の背景

市は、市内の企業・大学等が有する知見やノウハウ等を生かしながら、市民サービスの向上や、市における課題解決を図るため、産学官連携の取組を推進しています。

その取組の一環として、コロナ禍を背景にデジタル技術を活用した取組の急速な進展に伴い、スマートシティの実現に向け、企業・大学等と共同で市における社会的課題の解決と経済的価値の創出を目指す「調布スマートシティ協議会」を本年6月に設立しました。

協議会の会員でもあるNTT東日本では、市内に立地するNTT中央研修センターにおいて、自社の課題解決や新たなビジネスの創造に向けて、先端技術を実証する

「イノベーション拠点化」を進めており、ローカル5Gの有効性を検証する事例の1つとして、農業用ロボットの機体制御・映像伝送によるトマトの栽培に取り組んでいます。



◆取組の目的

調布市立学校では、市内農業経営者と連携し、市内農産物を活用した給食の提供を通じ、地産地消を進める「S & A (スクール&アグリカルチャー)」の取組や、国の「第4次食育推進基本計画」における、3つの重点事項の1つに掲げられた「新たな日常やデジタル化に対応」するため、タブレット等を活用した食育の推進に取り組んでいます。

この度、市は、NTT東日本及びNTTアグリテクノロジーと連携し、研修センターの近隣校である市立若葉小学校の給食食材として活用することで地産地消につながるとともに、学校給食を通じ、地域で取り組んでいる新しい農業技術を生かした取組について、タブレット等を活用して学ぶことで、デジタル化に対応した食育の推進に取り組めます。



市は、今後も、調布スマートシティ協議会における取組の一環として、こうしたデジタル技術を活用した様々な取組を進めていきます。

◆ 学校給食を通じた取組

調布市,教育委員会とNTT東日本(株),NTTアグリテクノロジーは、市内「NTT中央研修センター」における **最先端農業ハウス**で栽培される**トマト**を近隣校である**若葉小学校**の給食食材として提供するとともに、児童が、新しい農業技術の取組を**タブレット等**を活用して学ぶことで**デジタル化に対応した食育を推進**します。

■実施校 市立若葉小学校

■給食提供日 令和3年11月16日(火)

■事業案内(ホームページ)

・調布市

<https://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1635130019665/index.html>

・NTT東日本

<https://www.ntt-east.co.jp/tokyo/info/>

■担当

- ・スマートシティ協議会について 調布市行政経営部企画経営課 伊藤, 中山, 村岡 042-481-7202 (直通)
- ・学校給食の取組について 調布市教育委員会学務課 渡辺, 丸山 042-481-7449 (直通)
- ・NTT東日本の取組について NTT東日本 東京事業部 広報担当 03-3740-7010

